

紫外可視光吸光光度測定装置

UV-VIS Spectrophotometer



可視・紫外光の吸収から、材料の組成や濃度を簡単に定量できる。

1. 機器名称 吸光光度測定装置
2. 機器分類
3. 担当部署 理工学部
4. 装置担当者 村松 信一
5. 導入年度 1997年
6. 型式 SHIMADZU
7. 仕様・性能 UV-2400PC/MPC-2200、吸収、正反射、拡散反射測定
8. 機器の開放状況（該当する区分を選択して下さい。）

- ・有料で開放している。（840円／1時間当たり）
- ・共同研究利用の場合無料

9. 利用上の注意点

10. 主な使用事例

溶液の濃度測定、薄膜の吸収測定、材料表面の反射、散乱測定。